

学びをひろげる (第10回)

※ ○は、自分以外の参加した人の数です

まる (わたしと○人の会)

日時 2015年5月23(土) (1時45分~5時)
場所 クレオ大阪東
(大阪市城東区鳴野(しぎの)西 2-1-21 ☎06-6965-1200)
参加費 500円(会場費・運営費等) ※学生は、無料です。

一人で拡がらない学びを○人が集まり、多様な人たち(年齢、国籍、職種など様々な人たち)との出会い・対話を通して自分の学びを拡げ、授業づくり・教材づくりをしませんか。もう一度、教育・授業のあり方をていねいに見つめ語り合いましょう。



京橋駅(JR線)南口から南へ約600メートル
大阪ビジネスパーク駅(地下鉄長堀鶴見緑地線)
4番出口から東へ約700メートル
京橋駅(京阪線)中央口から南へ約850メートル

第9回の内容

大阪府立高校教員の増田俊道さんに池田北高校での10年に及ぶ「地域福祉」の授業を報告していただきました。池田北高校は、「地元校」として「地域」の普通高校をめざしてきました。学校設定科目の「共生科」を創設、3年生の選択科目として、朝鮮語・中国語・エスペラント語を学ぶ「国際理解」と、地域で活動する高齢者・障害者・NPO団体などから学ぶ「地域福祉」の授業を開講しました。校内のバリアフリーチェックをしながら話し合い、生徒たちが学校側に提案して実際にバリアが取り除かれていったことや、乳幼児と向き合う困惑した顔の生徒たち、若いお母さんたちとの盛り上がる会話、障害当事者の講師との丁々発止のやり取り、性的マイノリティーの問題に戸惑う表情等々、揺れ動く高校生たちの心境を想像しながら、楽しくお話を聞くことができました。報告を受けて参加者全員が感想と「ひとつだけ質問」を出しあいました。フリートークでは、詰め込みになってしまう面もある。・教師が自分の価値観を発言することが難しくなってきた。・ストレスマネジメントの必要性などの、教師を取り巻く課題と、生徒の感想文を基にした議論・教科の授業での生徒同士の話し合い・人権学習・総合学習だけではなく、教科学習のときに生徒が目輝かせ身をのり出すような教材をつくれな。・教材づくりに高校教師の「教科の専門性」を、むしろ発揮できるのではない。・考える子ども(高校生)をつくるという視点、というように授業づくりに向けた意見も活発に交わされました。ますます高校教育に対する興味と関心が広がってきました。これからは高校の授業づくりの課題は、「○人の会」の様々な話の場で交わされることになると思います。



研究会の様子

今回 第10回

「異文化コミュニケーション」: 「異文化を知る、自分を知る」ために
報告: Raja Ratna Sthapit さん (NPO 法人クロスカルチャーメディア専務理事)

ラジャさんが府立山本高校の生徒たちと取り組んだワークショップ「異文化コミュニケーション」の授業が、関西テレビのニュースアンカーで紹介されました。一「違い」を拒否するのではなく楽しむことでたくさんの「なるほど!」と出会い、自分自身の世界が広がるきっかけになることを私自身は異文化に出会って学びました。この経験から学んだ「違いはおもしろい!」を日本の子供達に伝えたいと、ラジャさんはいわれます。参加者一人ひとりが自分の「異文化」との出会い、経験や、自分の受けた授業、取り組んだ授業などを交流しながら、ラジャさんの話を通して、人権教育(多文化共生)と授業づくり(子どもの学びを大切にする)をつなげる話し合いになればいいと思います。

案内は、ホームページ (<http://manabi-hirogeru.net/>) にも掲載しています。(多くの方の申し込みをお待ちしています) 当日参加もOKです。

「学びをひろげる」スタッフ 堀 智晴、松森 俊尚、山本 卓雄

連絡先 松森 (☎090・1960・3469 ☎gakimon57tm@ezweb.ne.jp ☎matumori@crux.ocn.ne.jp)

山本 (☎yamamoto2.cham-miku@nifty.com) 堀 (☎hori720@hotmail.com)

★次回第11回研究会は、2015年7月18日(土) 午後1時45分~5時 クレオ大阪東 で行います★